

石綿の試験結果報告書

YAF1818
令和3年1月7日

CAVジャパン株式会社 殿

株式会社 理研分析センター
代表取締役 菅原 幸司
〒997-0013山形県鶴岡市道形町18-17
TEL0235(24)4427 FAX0235(24)4429

貴社より委託を受けた石綿分析の結果を下記の通り報告します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1 物件名称

物件名称	珪藻土バスマットの定性的判定
------	----------------

2 分析を実施した年月日及び分析方法

分析試験方法	JIS A 1481-1(2014) 偏光顕微鏡による定性的判定方法
--------	------------------------------------

3 試料採取履歴

採取年月日	-	
試料受取日	令和2年12月17日	
建材名称	珪藻土バスマット (吸まっくす)	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	-
	用途	-
竣工年	-	
建物などの採取部位及び場所	採取部位	-
	場所	-
試料の概要 (形状又は材質試料の大きさ)	形状又は材質	板状
	均一性の有無	有
	試料の大きさ	大きさ：45cm×30cm×1cm
試料採取者	依頼者による	
試料番号	2544	

4 分析試料の前処理

前処理方法	灰化(485℃) 酸処理(2mol/L 塩酸) 浮遊沈降
-------	------------------------------

5 偏光分散顕微鏡による光学的性質

観察項目	観察結果	JIS A 1481-1表3~5を参照とする判定
形状・多色性・消光角・伸長の符号	別紙1	一致しない
分散染色法	別紙2	

6 判定結果

石綿の種類と有無	無検出 クリソタイル アモサイト クロシドライト トレモライト アクチノライト アンソフィライト リヒテライト/ウィンチャイト
推定石綿質量分率	検出 0.1-5% 5-50% 50-100%
石綿以外で確認された繊維	セルロース
備考) 推定石綿質量分率は、検鏡した繊維数に対する該当染色繊維数の比率である。但し、 【検出】とは観測繊維数が3000以上の場合で該当繊維が1から2本の場合をいう。	

添付資料 別紙1 実体顕微鏡観察結果 偏光顕微鏡観察結果
別紙2 分散染色法顕微鏡観測結果

①実体顕微鏡の観察結果

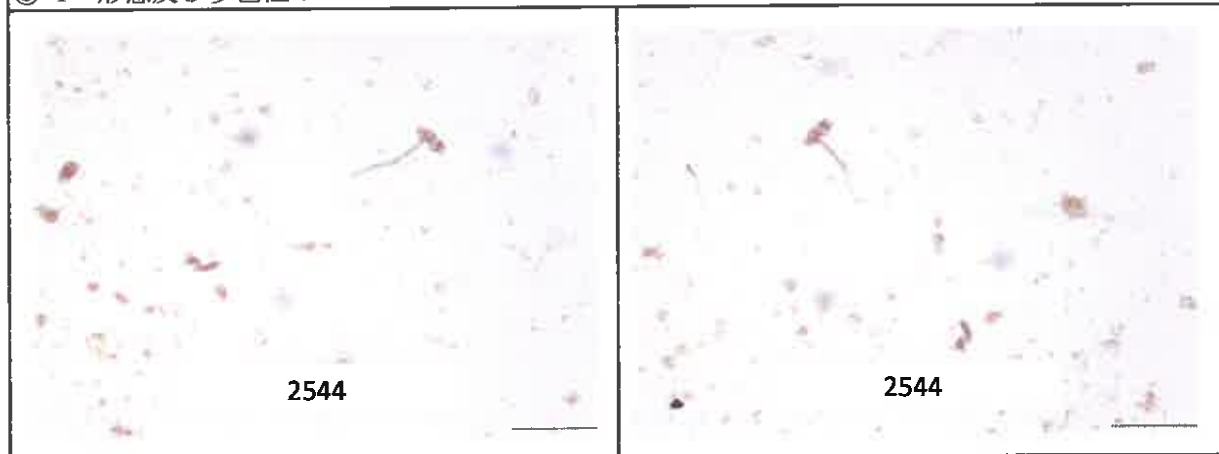
層構造の有無	無
層の記載（色及び状態）	層1（100%） 白、板状、繊維有

②石綿の形態及び光学的性質

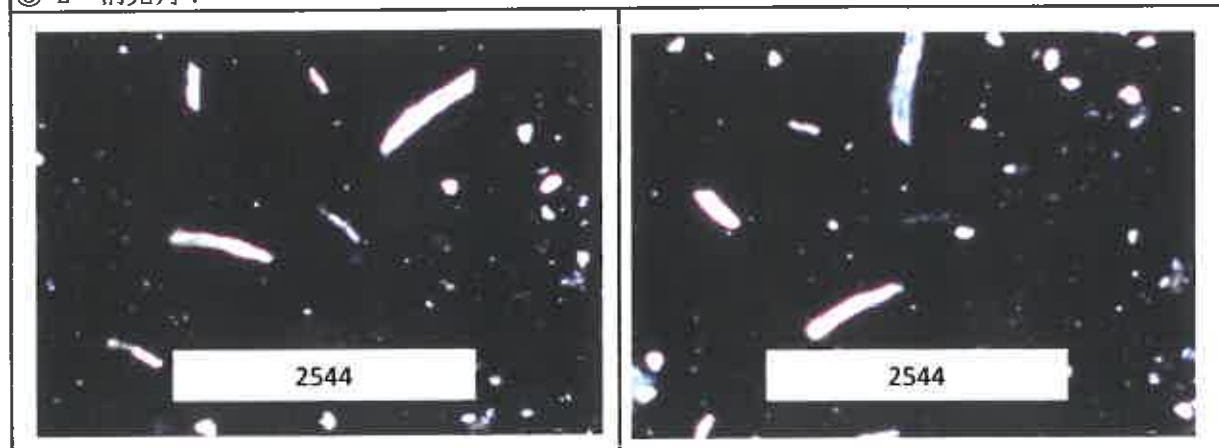
石綿の種類	形態	色・多色性	消光角	伸長の符号
クリソタイル	波状	-	直消光	正
アモサイト	直線的	-	直消光	正
クロシドライト	直線的	青(∥) 灰色(⊥)	直消光	負(加熱後正)
トレモライト	直線的	-	直消光または斜消光	正
アクチノライト	直線的	-	直消光または斜消光	正
アンソフィライト	直線的	-	直消光または斜消光	正
リヒテライト/ウィンチャイト	直線的	-	直消光または斜消光	正

③試料の偏光分散顕微鏡写真

③-1 形態及び多色性：-

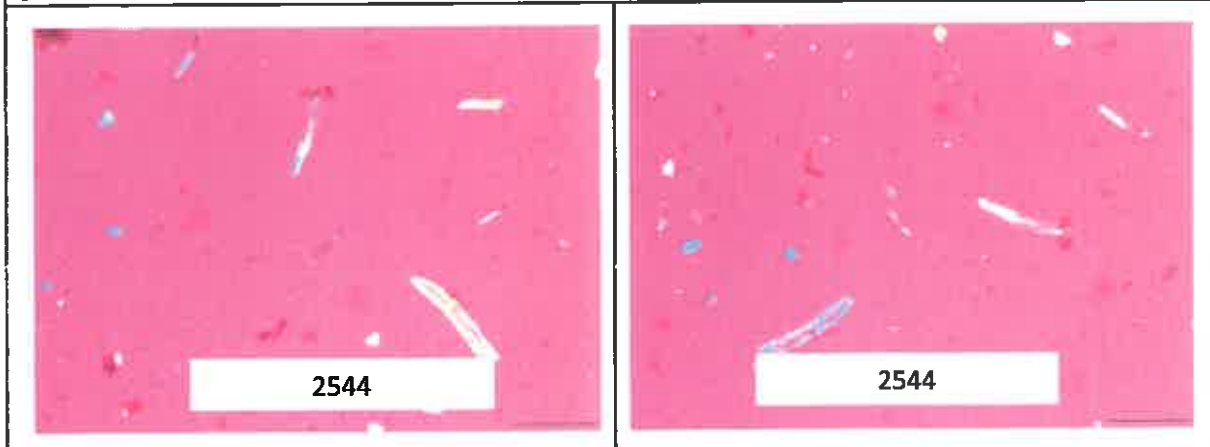


③-2 消光角： -



直消光とは繊維の端を上又は横に傾けたときに消光する場合、斜消光とは繊維の端がある角度をなして消光する場合を表す。

③-3 伸長の符号： -



伸長の符号が「正」とは繊維の端を左斜め上45°に傾けたときにオレンジ色を示し、右斜め上45°に傾けた時に青色を示す。伸長の符号が「負」とは繊維の端を左斜め上45°に傾けたときに青色を示し、右斜め上45°に傾けた時にオレンジ色を示す。

以下余白

④石綿の分散色及び試料の分染色との比較				
石綿の種類	浸液	分散色		試料の分散色
クリソタイル	nD1.550	∥ : 赤紫色	⊥ : 青色	一致しない
アモサイト	nD1.680	∥ : オレンジ色	⊥ : 青色	一致しない
クロシドライト	nD1.700	∥ : 青色	⊥ : 青色	一致しない
トレモライト	nD1.605	∥ : 黄色	⊥ : 青色	一致しない
アクチノライト	nD1.630	∥ : 黄色～赤紫色	⊥ : 青色	一致しない
アンソフィライト	nD1.605	∥ : 黄色	⊥ : 青紫色	一致しない
リヒテライト/ウィンチャイト	nD1.630	∥ : 赤紫色	⊥ : 青色	一致しない

石綿の分散色は産地や建材の劣化状況、前処理等の影響により多少屈折率が違う場合がある。

②-4-1 分散染色法の分散色

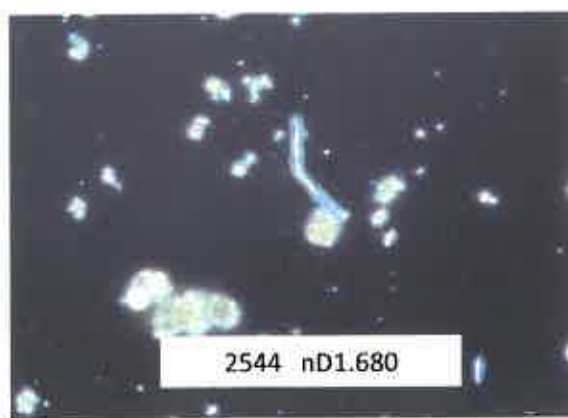
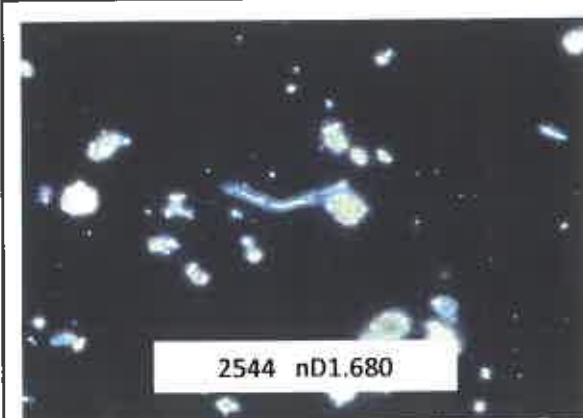
浸液 : nD 1.550

∥ : 繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行 ⊥ : 繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交



浸液 : nD 1.680

∥ : 繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行 ⊥ : 繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交

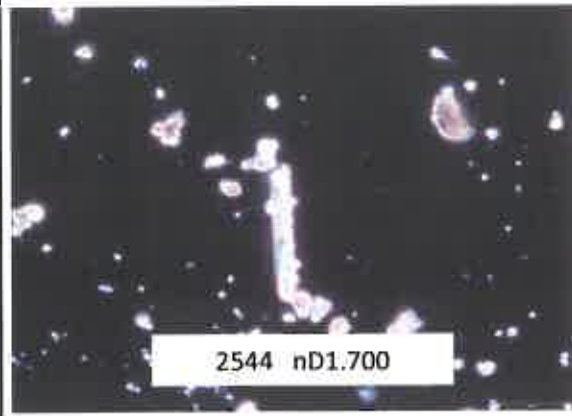
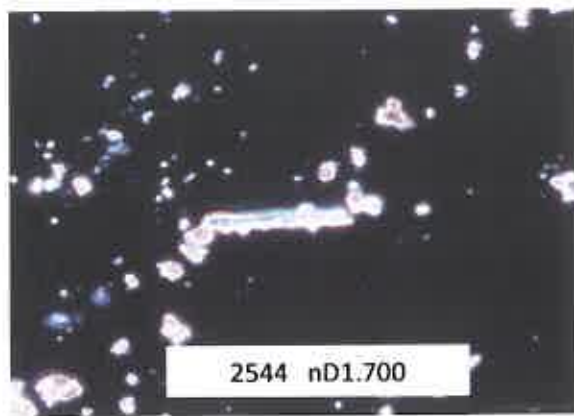


②-4-2 分散染色法の分散色

浸液：nD 1.700

||：繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行

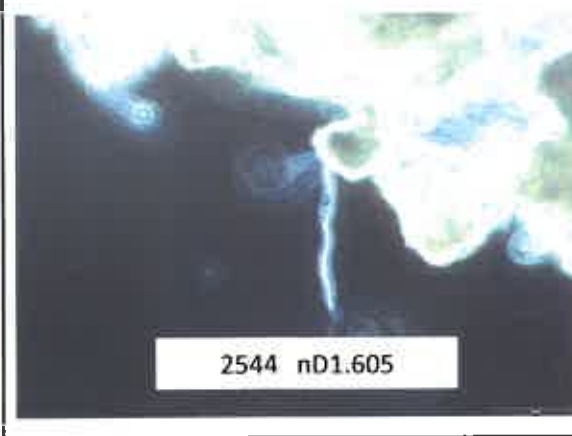
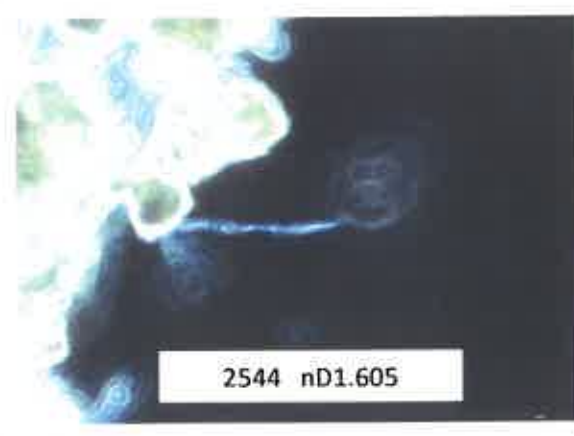
⊥：繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交



浸液：nD 1.605

||：繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行

⊥：繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交



浸液：nD 1.630

||：繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行

⊥：繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交

